

八木健の川柳アート

40

新聞の社会面はネタの宝庫

社会面に見つけた最近の拙句。
拍手喝采受刑者の悪知恵に
(ブラジルで受刑者がハトを使って外部か
らモノを調達の記事から)
捕まって反面教師になっちゃった
(大分の教員採用汚職の記事から)

特選

選者・川柳アート
八木健

(月刊川柳総合誌「川柳マガジン」元選者)



金子 亶 (東温市)

食品値上げはメタバ消のチャンス

こんな風にプラス思考にすれば楽しい生涯を送れるよきと。燃料費高騰で漁業が成り立たないから漁業資源が回復する。車に乗らなくなつて歩くから健康になり医療費が抑制される。いいことづくめでだね。

佳作



北川アイ子 (松山市)

賞味期限を舌と臭いで決めるとは

船場吉兆を筆頭にさまざまな食の信用が損なわれたわけだが、消費者も自身の嗅覚と舌で判断せねばならん。給食の時間にそれが可能ですね。「今日の給食で中国産がひとつあります。分かりますか、嗅いでみてください」



森 精一郎 (松山市)

誕生日銀行員が知らせに来

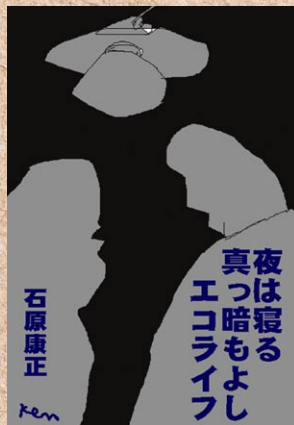
ある時期から誕生日を祝ってもらえなくなり、結果として自身の誕生日を忘れてがちに。二、三日過ぎてから気がつく始末。そこで銀行が誕生日に、花の鉢植えを持ってきてくれるようになった。利子が安いんだからその程度のことほね。



藤原 白男 (今治市)

世が世なら北朝鮮へ黄門様

米国は北朝鮮のテロ支援国家の指定解除。日本の政治家も足並みが乱れているから、国家犯罪がうやむやになろうとしている。こんなときには水戸黄門様の登場が待たれる。黄門様のごとき、真の実力のある政治家が欲しい。



石原 康正 (松山市)

夜は寝る真つ暗もよしエコライフ

コンビニが使う電力は大変なもの。国土交通省が残業に使う夜間の電気代も馬鹿にならないぞ。だから庶民が節約して環境に優しい国にせにやならん。

古今の名句



榎本 聡夢

物忘れ甲乙がない老夫婦

明治四十年東京生まれ、新聞の川柳欄に投稿したのが川柳にのめりこみきつかけた。後に新聞や放送の選者を務めるなどの活躍。東京番傘川柳社の創設にも加わった。平成九年に八十九歳で死去。

今月の八木健



聖堂の落書き字が下手だから恥ずかしい

聖堂の落書き字が下手だから恥ずかしい
日本人が下手な字で落書きをして、世界遺産を傷つける出来事が頻発している。それらは、決まって文字が下手である。学校教育で書道に力を入れてもらいたい。海外での落書きで恥を書かないためにもね。

本コーナーが
待望の単行本化
好評発売中!!



「八木健の川柳アート」では、川柳を募集しています。テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限りません。採用された作品には八木さんが「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントいたします。応募方法は36ページをご覧ください。